



# きゅうしゅう

No.10

編集・発行  
九州防衛局 総務部

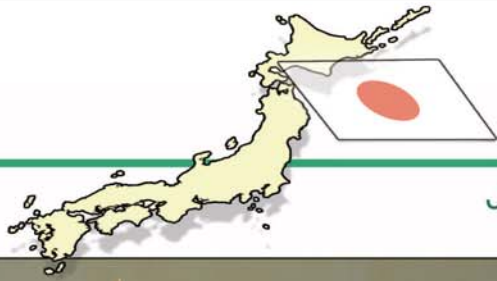
福岡市博多区博多駅東  
2丁目10-7  
福岡第2合同庁舎内  
092-483-8811



日米親善交流 in 佐世保 2010 より

## ◆ 主な内容 ◆

日米親善交流 in 佐世保 2010 について .....	2 ~ 3
第 12 回防衛問題セミナー開催について .....	4
部隊だより ~創立記念行事紹介~ .....	5 ~ 6
在日米軍従業員応募から採用までの流れ.....	7
九州防衛局インフォメーション .....	8



# 日米親善交流

JAPAN-U.S. FRIENDSHIP SPORTS



木坂局長による開会挨拶



米海軍佐世保基地 マーティン司令官挨拶

2010年3月13日、佐世保市椎木町の振興会体育館において、九州防衛局主催の日米スポーツ交流事業「日米親善交流 in 佐世保 2010」を開催いたしました。

## Jリーグアビスパ福岡コーチとの “ゲーム感覚のサッカー教室”

この事業は、佐世保地区米軍施設の周辺住民の方々とは米軍人やその家族との交流を目的として佐世保市等の協力を得て実施したものです。

当日は、佐世保市内の日米小学生、その家族の方々など約100名が参加し、はじめに、主催者である木坂局長の開会挨拶、マーティン佐世保基地司令官及び佐世保市長代理末竹副市長の挨拶の後、午前には、Jリーグアビスパ福岡のコーチら4名による“ゲーム感覚のサッカー教室”などが行われました。

日米の子供たちは、最初とまどいもありましたが次第に仲良くなり、やがて一緒に笑いながらゲームを楽しみました、特に、アビスパ福岡コーチチームとのフットサル試合では、普段では見られないプロの技を目の当たりにし、とても貴重な体験となったことでしょう。

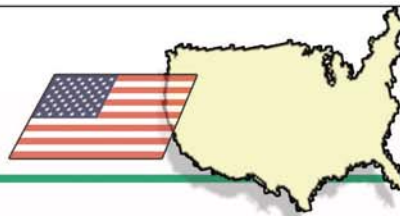


アビスパ福岡コーチによるサッカー教室



アビスパ福岡コーチチーム VS 日米子供達チーム

## in 佐世保2010



EXCHANGES in SASEBO 2010



午後からは、日米混合の8チームにわかれ、フットサル大会総当たり戦が行われました。

子供たちは、言葉はうまく通じないものの、スポーツを通じて交流を深め試合もたいへん盛り上がったものとなりました。

**表彰式** 優勝チーム・2位及び3位のチームに表彰状と記念品が手渡されました。



子供たちによるフットサル試合



表彰式後も子供たちは・・・



表彰式後も子供たちは、すぐに帰ることなく、お互いのユニホームにサインをするなど共有した時間を確かめ合い小さな絆が芽生えていました。

## 日米親善交流事業概要

この事業は、平成20年度から全国の在日米軍施設が所在する自治体においてモデル事業として始めたものであり、参加者や関係自治体においても好評であることから、防衛省として今年度から本格的に実施することとしています。



## ● 第12回防衛問題セミナー

### ～弾道ミサイル防衛とペトリオットPAC-3について～

#### 開催日等

- 日時 平成22年4月15日(木) 18:30～
- 場所 クローバープラザ(福岡県春日市)

平成22年4月15日(木)、福岡県春日市のクローバープラザにおいて、第12回防衛問題セミナーを初めての試みとして手話通訳付きで開催しました。

今回は、航空自衛隊春日基地に司令部を置く第2高射群司令 荒木正嗣 1等空佐を講演に迎え、「弾道ミサイル防衛とペトリオットPAC-3について」というテーマで行われ、木坂局長の開会のあいさつに続いて、荒木 1等空佐から北朝鮮の弾道ミサイルの状況、弾道ミサイル防衛システムの概要とペトリオットPAC-3の役割、PAC-3の整備状況、弾道ミサイル防衛に係る法的枠組等についての説明が行われ、120名を超える参加者は、昨年4月に北朝鮮が打上げ実験をした時の自衛隊の対応などを示すスライドを見ながら熱心に耳を傾けていました。

講演後、「北朝鮮の核やミサイル問題」などについて質問があり、これに対し講師からは丁寧な説明がありました。

セミナー終了後、参加者からは、「ミサイル防衛の仕組みが理解でき、重要性を改めて感じた。」「もっと詳しい内容が知りたい。」などの感想が寄せられました。



九州防衛局長 木坂慎一



航空自衛隊第2高射群司令 荒木正嗣1等空佐

## ● 部隊だより

～ 創立記念行事が開催されました～

### ◆ 海上自衛隊鹿屋航空基地 ～ 創立56周年記念行事～



平成22年4月10日海上自衛隊鹿屋基地において、創立56周年記念行事が開催されました。

同基地は、昭和29年に開設され、現在第一航空群が哨戒機P-3Cを運用し東シナ海、日本海及び太平洋の周辺海域の警戒監視などを行っています。

また、今年6月には、同航空群の哨戒機2機がソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため派遣されることになっています。



### ◆ 陸上自衛隊前川原駐屯地 幹部候補生学校 ～ 創立56周年記念行事～

平成22年4月18日陸上自衛隊前川原駐屯地において、幹部候補生学校の創立56周年記念行事が開催されました。

陸上自衛隊幹部候補生学校は、昭和29年に発足し、「質実剛健にして清廉高潔」の校風を旨として、陸上自衛隊の初級幹部を教育訓練することを任務とし、また、高良山登山走などの伝統行事でも知られています。

当日は、大勢の人々が見守るなか観閲行進や空挺降下などが行われました。



## ◆ 陸上自衛隊大村駐屯地 ～創立58周年記念行事～



平成22年4月24日陸上自衛隊大村駐屯地において、創立58周年記念行事が開催されました。

同駐屯地には、第16普通科連隊や第4施設大隊などの部隊がいます。

記念行事では、観閲行進や災害派遣訓練の展示とともに、軽装甲機動車の試乗などが行われ、訪れた人々を楽しませていました。



## ◆ 陸上自衛隊北熊本駐屯地 ～創立53周年記念行事～

平成22年4月25日陸上自衛隊北熊本駐屯地において、駐屯地の創立53周年記念とともに、同駐屯地に司令部を置く第8師団の創立48周年記念行事が行われました。

同師団は、昭和37年に第8混成団を母体に創立されたもので、九州南部3県（熊本県、宮崎県、鹿児島県）の防衛警備等を任務としています。

式典では、観閲行進とともに、オートバイ・ドリル、模擬戦闘訓練の展示、観閲行進や戦車試乗など多彩な催しが披露されました。



## ● ～ 在日米軍基地で勤務を希望される方へ！ ～

### 応募 方法

機構ホームページ若しくはハローワークから申込の手続後、米海軍佐世保基地所定の応募書類事項を記載の上、労務管理機構佐世保支部①番窓口まで提出してください。

応募書類は、米海軍横須賀基地のホームページ若しくは労務管理機構佐世保支部窓口にて入手できます。  
その他、必要な書類は機構ホームページ等の各募集詳細で確認ください。

### 選考 面接

書類の不備や添付漏れ、必要資格・免許等を労務管理機構佐世保支部窓口で確認します。

その後、米軍による書類選考の後、佐世保基地内で面接が行われます。面接では口頭試験のほか筆記・技能試験が行われます。

### 選考 結果 通知

選考結果は、合否にかかわらず、米軍から直接受験者へ郵送で通知されます。

### 雇用前 健康 診断

合格された方には、佐世保防衛事務所が指定する医療機関で健康診断を受けていただきます。

(受診費用は、佐世保防衛事務所が負担します。)

### 採用

最終選考で合格された方には、佐世保防衛事務所から「採用通知書」が郵送されます。

## 駐留軍労働者（在日米軍従業員） の労務管理等について

我が国には、日米安全保障条約に基づき、アメリカ合衆国軍隊（以下「在日米軍」という。）が駐留しており、在日米軍の任務遂行のために必要な労働力は、日米地位協定により我が国の援助を得て充足されることになっています。

防衛省は、在日米軍が必要とする労働力を提供するため、在日米軍との間で労務提供契約を締結しており、これに基づいて、防衛省は在日米軍基地で勤務する駐留軍等労働者（以下「従業員」という。）を雇用しています。現在、全国の在日米軍施設において、約26,000人の従業員が勤務しており、このうち、九州防衛局管内では、約1,650人の従業員が勤務しています。

これらに在日米軍基地で働く従業員の雇入れ、提供、労務管理、給与及び福利厚生などの業務を佐世保防衛事務所及び独立行政法人駐留軍等労務管理機構佐世保支部において行っています。

## 従業員の雇用制度

- ◆ 基本労務契約（MLC）  
各軍の司令部や部隊等の従業員  
(事務員、技術要員、運転手、警備員等)
- ◆ 船員契約（MC）  
非戦闘要員用船舶に乗り込む船員を対象  
(ただし、広島及び沖縄のみ)
- ◆ 諸機関労務協約（IHA）  
米国政府の国庫から独立した歳出外資金によって賄われる独立採算制の機関で、施設内の食堂、売店等の従業員(ウェイトレス、販売員等)を対象

## 給与と福利厚生

従業員の給与は、勤務する職種によって定められている基本給与と扶養手当などの諸手当で構成されています。

また、健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険など各種社会保険が適用されるほか、財形貯蓄、各種健康診断など様々な福利厚生制度があります。

- 問い合わせ先  
独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構佐世保支部（0956-23-7191）  
佐世保防衛事務所(0956-23-3157)

# Information

## 平和を仕事に、自衛官募集中

募集種目	募集人員	資格	受付期間	試験期日	合格発表	入(隊)校	
陸上自衛官 (看護)	参考(平成21年度) 約5名	看護師免許を有し、 保健師・助産師免許 を有する者(見込含) で36歳未満の者	9月6日～10月1日	11月20日	23年1月7日	23年4月上旬	
看護学生	参考(平成21年度) 約70名	高卒(見込含)24歳 未満の者	9月6日～10月1日	1次10月23日 2次11月20・21日	1次 11月4日 2次23年1月7日	23年3月下旬 ～4月上旬	
防衛大学校学生 (一般)	参考(平成21年度) 人文・社会科学専攻 約65名 理工学専攻 約285名	高卒(見込含)21歳 未満の者 (自衛官は23歳未満)	9月6日～10月1日	1次11月6・7日 2次12月14～18日	1次 12月3日 最終23年2月10日	23年4月上旬	
防衛医科大学校 学 生	参考(平成21年度) 約85名	高卒(見込含)21歳 未満の者	9月6日～10月1日	1次10月30日 10月31日 2次12月8～10日	1次 11月30日 最終23年2月10日	23年4月上旬	
2等 陸・海・空士	男子	参考(平成21年度) 陸約870名 海約500名 空約440名	18歳以上27歳未 満の者	年間を通じて行っ ております。	受付時にお知らせ します。	試験時にお知らせ します。	採用予定通知書で お知らせします。
	女子	参考(平成21年度) 陸約250名 海約80名 空約50名	18歳以上27歳未 満の者	(3月、4月採用) 8月1日～9月10日	(3月、4月採用) 9月26～29日	(3月、4月採用) 11月12日	(3月、4月採用) 23年3月下旬 ～4月上旬
高等工科学校生徒	参考(平成21年度) 約320名	中卒(見込含)17歳 未満の男子	11月1日～ 23年1月7日	1次23年1月22日 2次23年2月5～8日 までの間の指定する1日	1次23年2月1日 最終23年2月25日	23年4月上旬	

※ 詳しくは防衛省ホームページまたは各地方協力本部へお問い合わせ下さい。

### ◆ 地方協力本部一覧(九州地方) ◆

#### 福岡地方協力本部

〒812-0878 福岡県福岡市博多区竹丘町1丁目12番  
TEL:092-584-1881～3 FAX:092-584-1881～3

#### 佐賀地方協力本部

〒840-0047 佐賀県佐賀市与賀町2-18  
TEL:0952-24-2291・2292 FAX:0952-24-2293

#### 長崎地方協力本部

〒850-0862 長崎県長崎市出島町2-25 防衛省長崎合同庁舎2F  
TEL:095-826-8844 FAX:095-826-8846

#### 大分地方協力本部

〒870-0003 大分県大分市生石5丁目5-1  
TEL:097-536-6271～2 (FAX兼用)

#### 熊本地方協力本部

〒862-0971 熊本県熊本市大江4丁目2番21号  
TEL:096-366-1271～3 FAX:096-375-1109

#### 宮崎地方協力本部

〒880-0901 宮崎県宮崎市東大淀2丁目1-39  
TEL:0985-53-2643～5 (FAX兼用)

#### 鹿児島地方協力本部

〒890-0068 鹿児島県鹿児島市東郡元町4番1号 鹿児島第2地方合同庁舎1F  
TEL:099-253-8920

#### 編集後記

四月の人事異動で広報「きゅうしゅう」の編集を担当するようになり早1ヶ月。この間、掲載記事の選択や割付、広報の効果や文章の推敲など、これまで無縁で気にかけてこともないような作業の連続で、正直、よく5月号の発行に漕ぎ着けたものだといながら感心している次第です。ともあれ、読者諸兄諸姉が心待ちにするような紙面作りを心掛けますので、乞うご期待

九州防衛局では不測の事態に対応するため、  
夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

(平日は17時15分から翌朝8時30分まで、休日は終日)  
(上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい)

#### 夜間及び休日の連絡先

電話:(092) 483-8832  
FAX:(092) 472-1959